

お面さんに福うかがう

■2月11日 滝波町ふれあい会館



■2月13日 北谷町谷区教会



市指定無形民俗文化財に指定されている、滝波町と北谷町のお面さんが開かれました。お面さんが笑って見るとよい年になるといわれ、滝波町で参拝した方は「笑っていた。大雪で大変だったので豊作の年になってほしい」と話しました。

北谷町では、子どもの村小中学校の児童生徒も参加。田中久明三区長は「お面さんの笑顔を見てほしい。区に子どもはいないが学校の子もたちが来てくれて心強い」と話しました。

様々な職種にふれる

■2月24日 勝山南部中学校



2年生がオンラインで小説家やゲームクリエイターなどと交流しました。例年の職場体験の代わりに行われたもので、普段は聞けない職業の話に、生徒たちは興味津々で耳を傾けていました。

HOT話題

5人の連携が延焼拡大防ぐ

■2月4日 消防署



棚田陽菜さん(野向町龍谷)は学業のため欠席

南部英二さん(荒土町清水島) 棚田広和さん(野向町龍谷) 棚田真紀さん(野向町龍谷) 布川守さん(荒土町清水島)

昨年12月に発生した建物火災で、火災の早期発見と119番通報、初期消火に協力いただいた5人の市民に、消防署から感謝状が贈られました。

雪上走る クロカンスキー

■2月6日 かつやま恐竜の森



第52回勝山市少年少女スキー大会が開かれ、市内の小学生92人がクロスカントリースキーで健脚を競いました。

当日は天気にも恵まれ、久々の大きな大会に、児童らは1kmのコースを気合を入れて力走しました。

安心して暮らせる長寿社会の実現を

■2月10日 市役所公室



市介護保険運営審議会の武藤寛会長(左)が、水上市長に第8次勝山市老人福祉計画・介護保険事業計画の案の答申を行いました。

勝山高校コラム

「ひびきは空に～まこと真・誠・信～」

勝高HP



卒業式



3月2日卒業証書授与式が挙行され、112人が学び舎を巣立ちました。コロナ禍の影響で高校総体などの大会中止や学校祭の縮小など、例年通りの思い出多い1年間とはなりませんでした。進路実現に向けて生徒たちはしっかり頑張ってくれました。

進路状況(2月22日現在)

国公立大学の個別試験は3月12日(金)に全日程を終えます。合格発表は3月下旬まで続きます。

合格状況(学校推薦型・総合型選抜)

国公立大学 16人(名古屋大1人、筑波大1人、福井大3人、福井県立大7人、名古屋市立大1人、信州大1人、大阪教育大1人、長岡造形大1人)

私立大学 66人(明治大、法政大、東京理科大、同志社大、関西学院大、関西大、京都産業大、龍谷大、大谷大、福井工業大、福井医療大、仁愛大、金沢工業大、名城大、中京大、愛知学院大など)

短期大学 8人

専門・各種学校 28人

民間就職 2人

部活動

スキー部▶中村大輝さんと村松太郎さん(ともに1年)が、県代表として、全国高等学校スキー大会(インターハイ・2月6日～10日)、全国高等学校選抜スキー大会(2月23日～26日)に出場しました。

男女バドミントン部▶3月24日(水)～28日(日)、福島県福島市・郡山市にて開催される全国高等学校選抜バドミントン大会に、男子ダブルスに南茂斗羽さん・竹澤陽生さん(ともに2年)ペア、女子シングルスに五十嵐友実子さん(2年)が出場します。応援よろしくお願いします。

課題解決型学習成果報告会



2月8日、武生商工会議所で行われた県の成果報告会に、2年生代表生徒12人が参加し、関係者約300人の前でポスターセッションを行いました。

内容は、総合の授業で取り組んでいる「勝山人～地域に根ざした総合的探究～」についての報告です。校内においても、3月11日に中間報告会を行い、2年生全員が成果を発表します。

ありがとうございました

恐竜をイメージしたクッション寄贈



水芭蕉のリニューアルに携わった佐藤圭代表(三木佐藤アーキ・北海道)から、県内製造にこだわったクッション32個を寄贈いただきました。

2月12日に水芭蕉で贈呈式が行われ、榎家慎一支配人(写真左)に、佐藤代表の依頼でクッションを制作した村上貴宣社長(明林繊維・福井市)から手渡されました。

「ふるさとのために」とマスク寄贈



当市出身で、播州織デザイナーとして活躍する玉木新雌さん(兵庫県)から、自身が手掛けた布マスク1,000枚を寄贈いただきました。マスクは市内の学校や医療機関に配られます。

2月24日、母の和美さん(芳野町2、写真右端)と兄の大輔さん(写真右から2人目)が代理で市役所を訪れ、水上市長(写真中央)と同席した武藤寛市医師会長、島田雅仁市校長会長に手渡されました。